

## 郡山市PPP/PFI手法導入優先的検討基準に基づく結果報告書

## 検討段階

PPP/PFI詳細導入可能性調査

## 事業実施課

文化スポーツ部スポーツ振興課

## 施設名称

郡山総合体育館・開成山陸上競技場  
開成山野球場・開成山弓道場

## 公共施設総合管理計画に基づく検討開始年度

2018年度

## 所在地

郡山市豊田町56-1  
郡山市開成一丁目5-12

## 定量評価結果概要（担当：スポーツ振興課）詳細な導入可能性調査結果より

## 【VFM算定結果(現在価値換算値)】

- 事業方式はPFI手法（R0方式・BT0方式）又は類似手法であるDB0方式とする。
- 事業形態は「混合型」、設計・建設期間は1施設2年、維持管理期間は15年とする。
- VFM算定の結果、DB0方式、PFI方式の両方で財政縮減効果が得られた。
- 改修Lv1:機能回復 改修Lv2:機能回復+機能向上 として設定する。
- ▶DB0が最も財政縮減効果が高いという結果になった。
- ▶DB0方式 改修Lv1:3.5% 改修Lv2:5.4% 建替え:7.9%(PFI方式 改修Lv1:2.2% 改修Lv2:2.5% 建替え:1.4%)

## 定性評価結果概要（担当：スポーツ振興課）

- DB0方式又はPFI方式で、自主事業の導入等、民間事業者のノウハウの発揮によるサービスの向上が期待できる。
  - 事業者の視点では、半数以上の企業が「関心がある」と回答していることから、一定の競争性が担保できると考えられる。
  - 公共の視点では、PFI方式では金融機関によるモニタリングが行われるため、事業の安定性の確保が可能である。
- また、DB0方式においても別途「財務モニタリング」の契約を行う場合に限り、事業の安定性を確保できる。
- PFI法に基づき事業を行う場合、事業者選定手続きの透明性の確保が可能となることから、DB0方式の場合でもPFI法に準じて行うことが適切と考えられる。

## 総合的な評価結果（担当：スポーツ振興課）

- 財政縮減効果、サービス向上、競争性の確保、安定性、選定手続きの透明性の観点から、本事業においては、現時点では、PFI法に準じて行うDB0方式に優位性があると確認できる。
- 次のステップに移行し、金融機関等のヒアリングから、金利等を精査し、事業手法を決定する。
- 施設ごとの改修レベルを検討・決定し、最適なPPP/PFI手法により整備を行う必要がある。
- 劣化状況調査の結果、構造躯体は今後約30年の使用が可能である。

## 次の検討段階

PPP/PFIの実施に向けて「アドバイザー業務」を実施する

## 備考

- 1 令和元年6月25日～令和2年1月31日の「郡山市開成山地区体育施設劣化状況調査及びPPP/PFI導入可能性調査結果」による。詳細は、別紙参照
- 2 劣化状況調査の結果、3施設ともに躯体については、問題なし